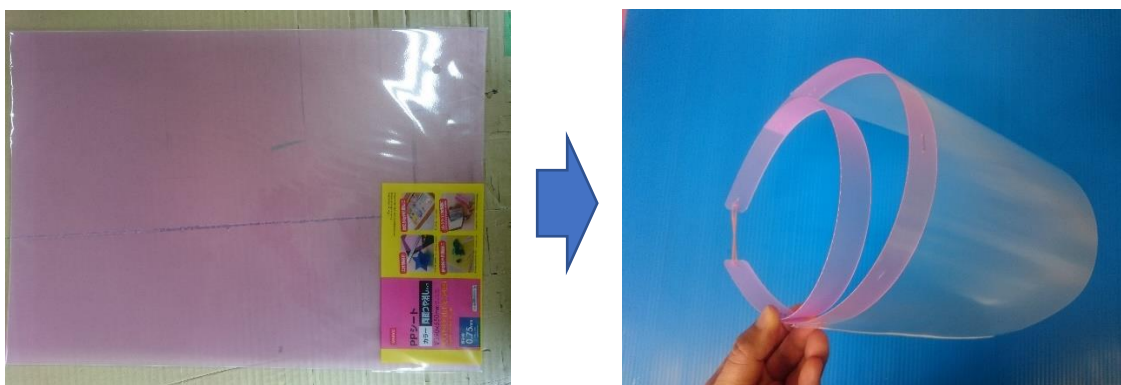


100均のPPシートでフェイスシールドを作る ダイソー商品版



材料：ダイソーのPPシート 55×39cm 厚さ0.75mm、輪ゴム

工具：はさみ、30cm定規（60cm以上があればなおよい）、油性ペン、ホチキス

ホチキスの針は、汗や次亜塩素酸などの消毒でさびる可能性があります。

実際の使用は自己責任でお願いします。

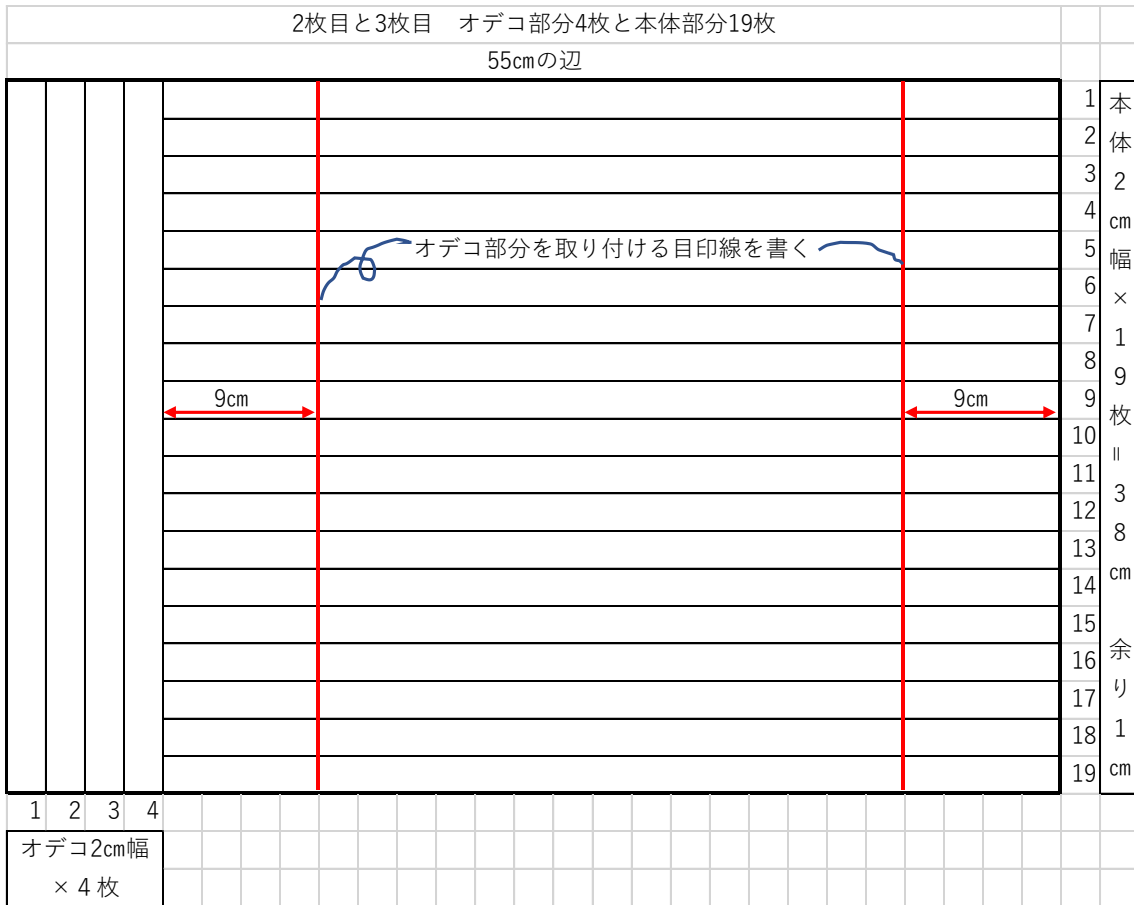
PPシート 3枚 で 製作個数 38個 となる作り方です。3枚単位が歩留まり高い。

(PPシート 1枚 の場合 切り方を少し変えて、11個作れます。)

【切り出す部品の寸法と枚数】 3枚のPPシートのうち1枚目

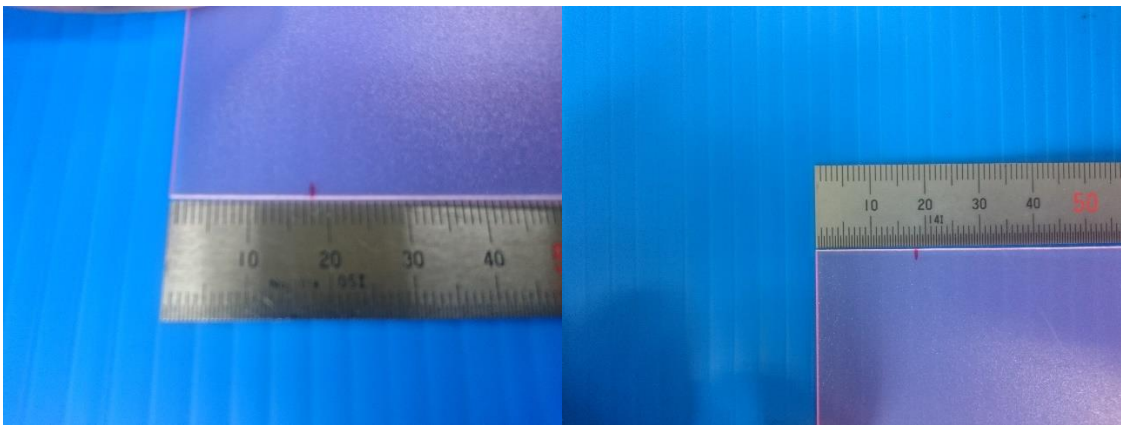
1枚目 (全部オデコ部分)	
55cmの辺	
39cmの辺	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
	17
	18
	19
	20
	21
	22
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	29
	30
55cmの辺 幅1.8cm×30枚=54cm 余り1cm弱	

【3枚の PP シートの内 2 枚目と 3 枚目】

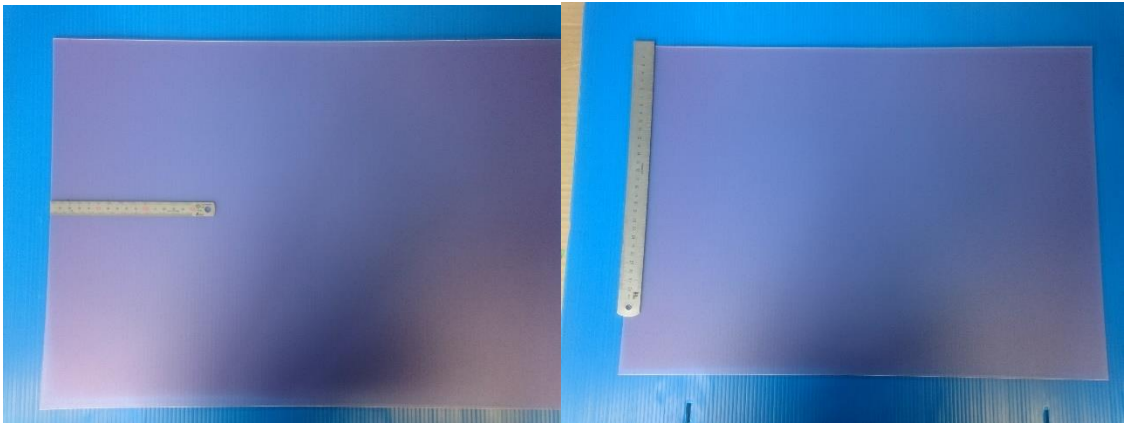


実際の切り出し方

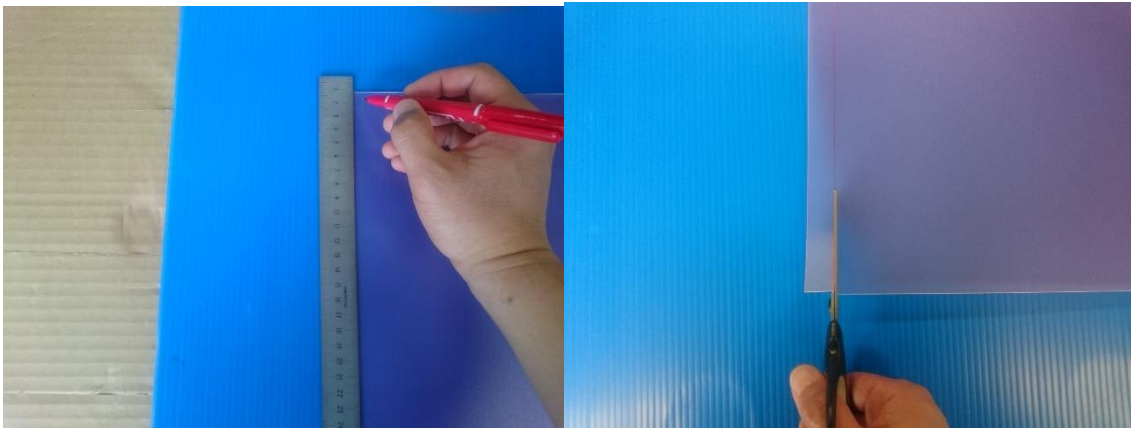
①マスターの作成



シートのはじから 18mm のところに油性ペンでマーキングする、上下 2 か所。

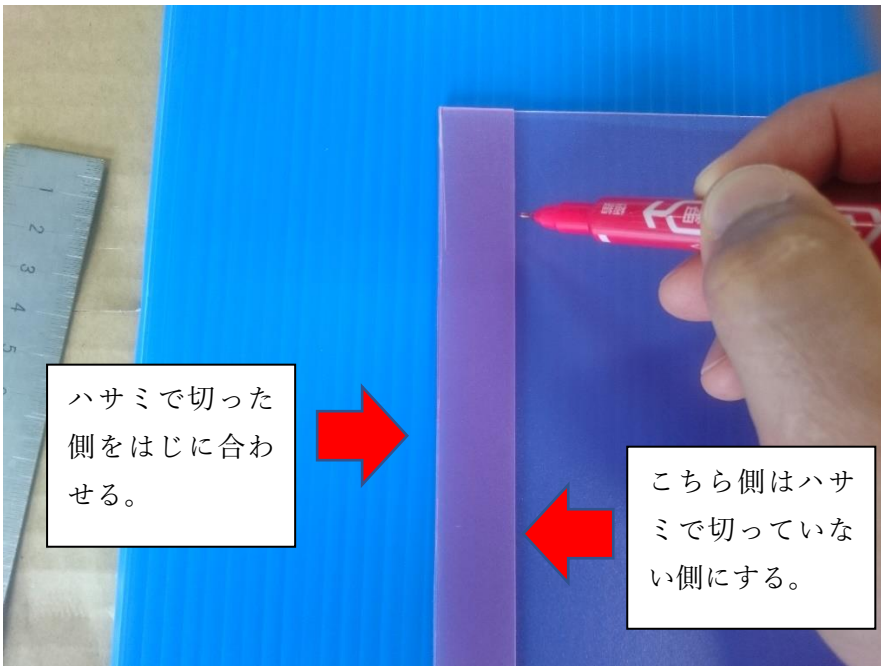


30センチ定規しかない場合は、長さが足りないため、真ん中にも18mmのマーキングをして30センチ定規で上下2回に分けて線を引く。

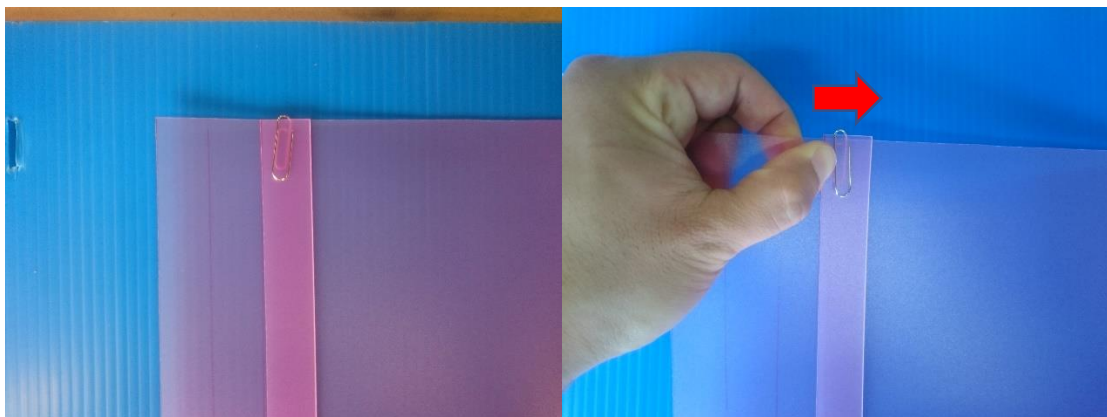


線を引いたら、はさみで丁寧にきる。この1枚目がマスターとなる。

②マスターを使って18mm間隔で線を引いていく。



マスターを使って2枚目以降の切り取り線を油性ペンで引いていく。

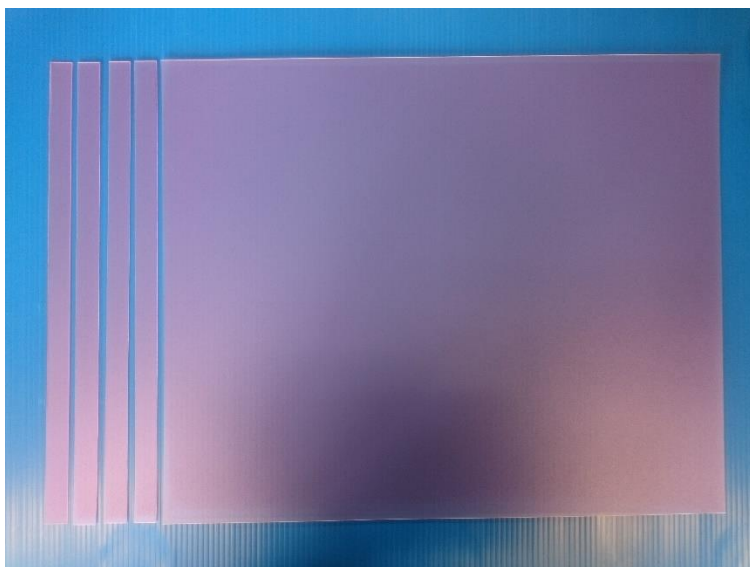


手で押さえるのが大変な場合は、クリップで留めて引く。手で横に押せば簡単にスライドできる。下側は手で押さえながら線を引く。

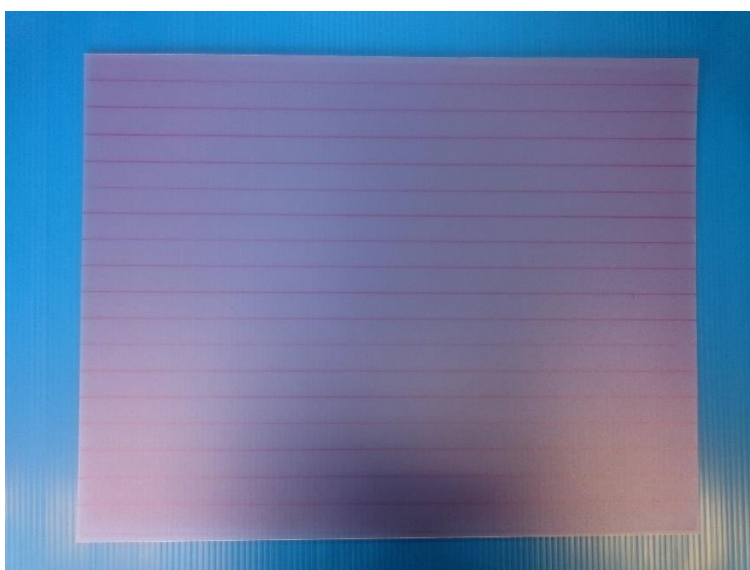
1枚目 (全部オデコ部分)	
55cmの辺	
3 9 cm の 辺	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
	17
	18
	19
	20
	21
	22
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	29
	30
55cmの辺 幅1.8cm×30枚=54cm 余り1cm弱	

1枚目はこのように、18mm幅を30枚分線を引いて、はさみで切る。

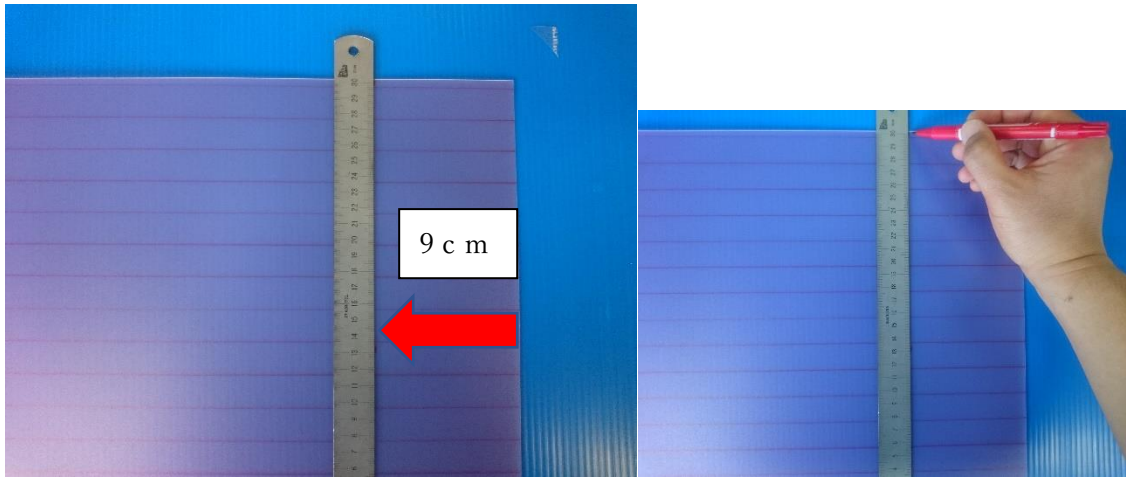
③2枚目と3枚目の切り方



先ほどの要領で、4枚分の1.8×39 cmを切り出す。



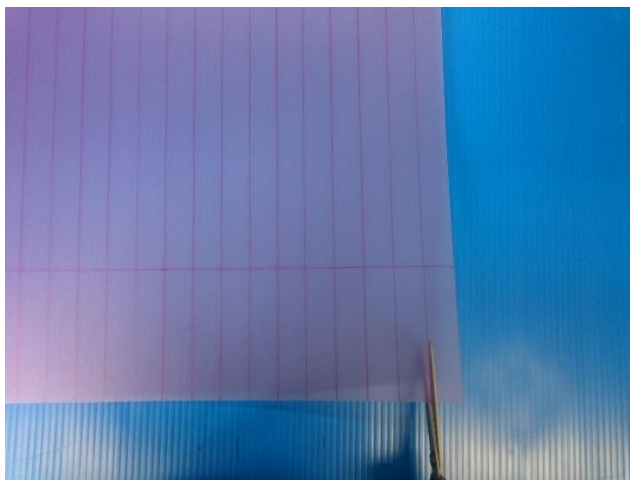
同じ要領でマスターを作り、2×約47 cmを19枚切り出すための線を引く。(約47 cmというのは、先ほどの4枚を切り終わったままであるため、多少ばらつきがあるという意味。46.5～47.5 cmくらいになっていると思われるが、特にそろえる必要はない。)



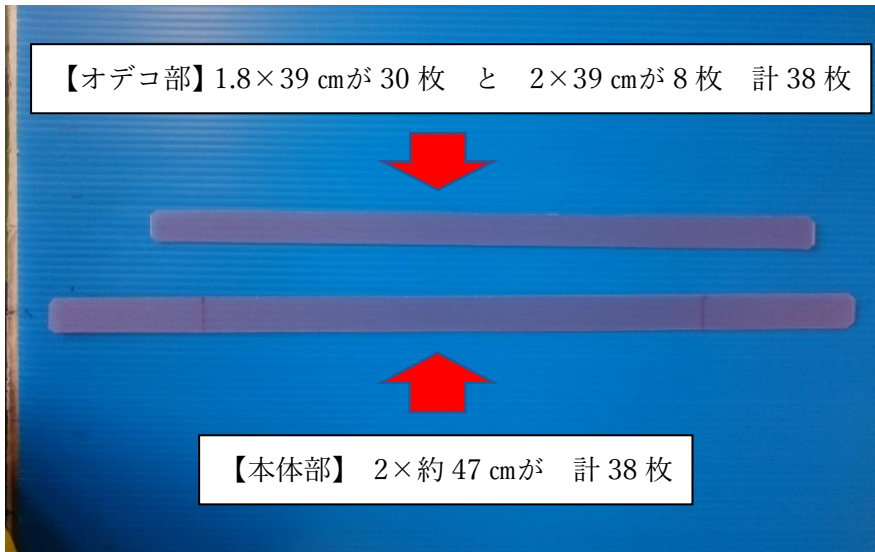
左右両端から9 cmのところに線を引く。写真は右端。



線を引き終わった状態。この線は組み立て時にオデコ部分を取り付ける目安となる。

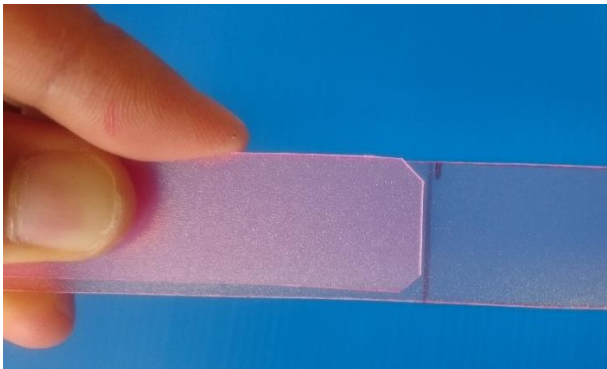


2×47 cmを19枚、切り取っていく。



PP シート 3 枚で、上記 38 枚ずつ部品ができる。

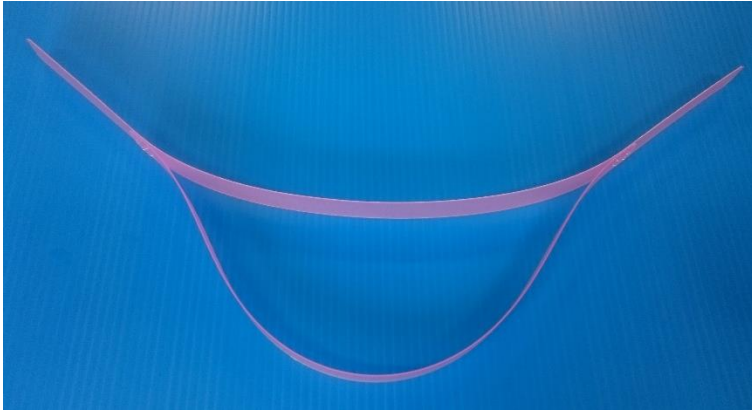
④組み立て



本体部に引いた線にオデコ部を合わせる



写真のように本体部側からホッチキスの針を打ち込み留める。2 か所。ホチキスの向きは外側に針が向くようにして、針がほつれた際に頭に刺さらないようにしているが、安全の考え方によっては逆もありえる。製作者次第。(自分に刺さるか、外側の誰を傷つけるか)



反対側も線に合わせて同じようにホチキスで留める。



輪ゴムを内側にホチキスで取り付ける。



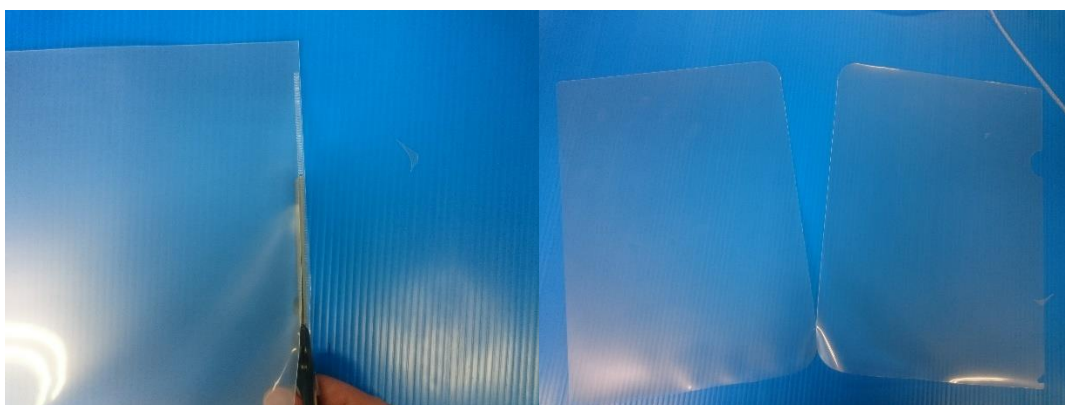
ホチキスを打ち込む向きは写真の向き、安全の考え方によっては逆もある、前述と同様。

⑤クリアファイルの下ごしらえ

クリアファイルのつけ方は好みによるが、ここでは、A4のクリアファイルを2つに切って取り付ける方法を紹介します。



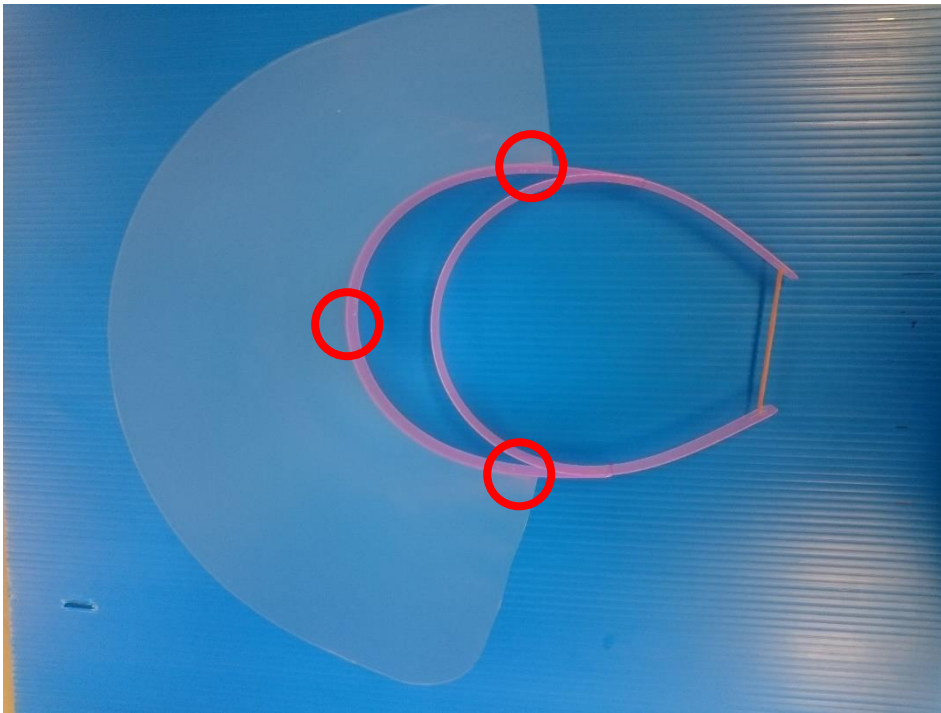
初めに、4隅を面取りする。



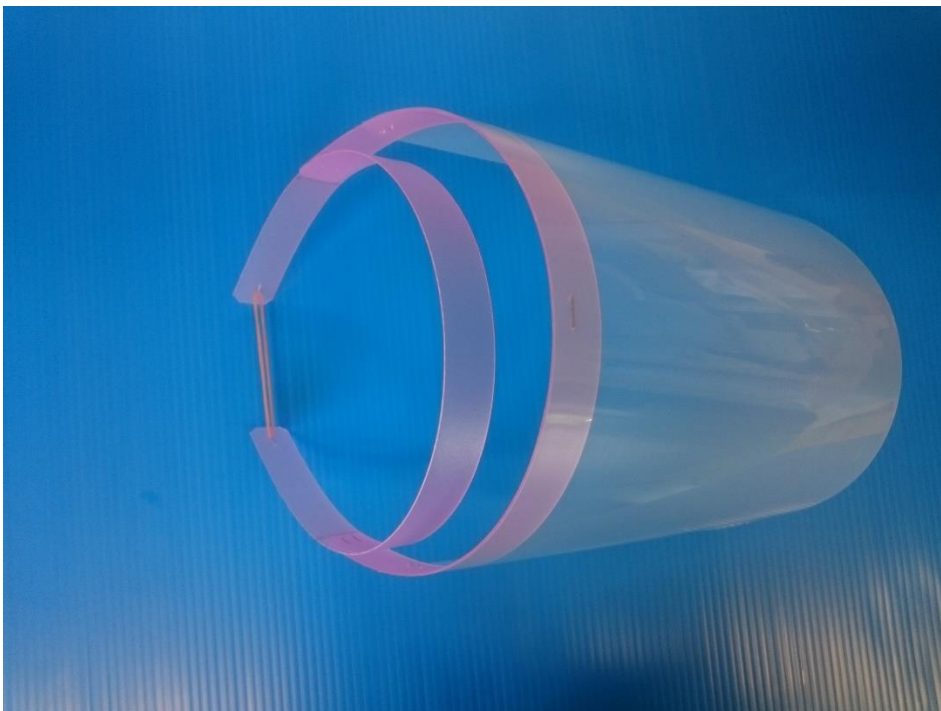
ハサミでシール部を切り取り、折り目を半分に切って2つに分ける。



クリアファイルをオデコ部の真ん中にあわせて、はじめから3か所ホチキス止めする。



3か所ホチキスをとめる。



完成。シールド部分はホチキスを打ち直せば何回も交換可能と思います。
ホチキスの針は、汗や次亜塩素酸などで錆てしまう可能性があるため、点検を欠かさず、さびていたら打ち直すか、本体ごと交換する必要があると思います。
また、ホチキスの針が外れたり、ほつれると危ないので使用前に点検する必要もあると思います。